

発表のための撮影ポイントを確認し、糖度計はコタツの上で、ビールを計ってみた。(糖度5, 1%) 糖度計を実際に使ってみると、メイプルへの親近感がわくようだ。日中、雪の上でソリをし、夕食後は星の観察やコタツでトランプをする。子どもたちとのこれらの時間は至福そのものであり、土呂部にはたくさんの恵みがあることに気づかされるのだった。

この土呂部の恵みを、のらえもんだけではなく、もっとたくさんの方々、都市部に住む子どもたちやその保護者のみなさんにも、ぜひ味わってもらいたいと思う。土呂部と都市部が交流を深め、お互いの良さに気づき、共に心も体も豊に過ごしていきたいとの願いが、この発表会につながった。

○ 事前打ち合わせ

2月23日(日) 1300～ 山口宅

「プロジェクターを使った方がいい」ということになり、いきいき館に申し込むと、「満室」とのこと。それで、山口さんの所に集まった。簡単な打ち合わせだけに、後は酒を飲みながら、土呂部の思い出を話しあっていた。

しばらくして、「当日、いきなりプロジェクター使用って、大丈夫なのかな?」と、心配になってきた。すぐいきいき館に電話し、1時間前からの予約をする。山口さんに使用料金を払いに行ってもらった。

○ 発表会当日

森と環境の表示の無いことにきづく。看板屋の山口さんに電話する。

1230～リハーサル。スタッフが集合し、スクリーン・マイク・コードを用意し、机・椅子を並べる。本日の発表者である川井くんが、パソコンを設置し、やっと、初めてのリハーサル。春日さんと、メイプルの読み聞かせとゆうきくんの発表の場面をどこにするか確認し、川井くんに伝える。

受け付けの栗田さんは、「区の方がきました」と。席は、ほぼうまった。が、肝心の看板屋が来ない。開始の1330が過ぎている。

やっと山口さんがきて、森と環境の表示をホワイトボードにはりつけた。

15分遅れの開始。進行は春日さん。

足立区環境課の井越様からご挨拶を頂き、いよいよ川井くんの発表が始まった。川井くん、落ち着いている!冬の土呂部には、まだ2回しか行っていないのに、集落や里山のことを丁寧に話している。メイプルのこと、宿の夕食にでた森の恵みのメニューと、どんどん進む。メイプルの読み聞かせとゆうきくんの発表の場面は、過ぎてしまった。でも、司会役の春日さんは、あわてることなく、その時間をとってくれた。

ゆうきくんの画用紙に書いた発表、とてもよかったね!

最後は、春日さんがていねいにまとめてくれました。

第一部は、こうして、何とか終えることができました。

第2部は、「土呂部のめぐみ」についての、ワークショップです。食べ物・燃料・道具について、自然との関わりをあらためて確認しようとするものです。

まずは、糖度計を使ってみます。イタヤカエデから出る樹液の糖度は1, 4%でした。参加者みんなに、その樹液を飲んでもらいました。「甘くない!」と言います。

次は、その樹液を「煮つめて煮つめて」、糖度を上げていきました。64%です。
今度は、みんなが「甘〜い！」と笑顔です。こんなにちがいがあるんですね。
ちなみに、色々なものの糖度を計ってみました。

糖度	みかん 12, 2%	大根 5, 0%
	リンゴ 12, 7%	人参 9, 0%
	レモン 8, 5%	牛乳 12, 2%
	ニンニク 6, 7%	ビール 5, 1%

他の土呂部の恵みについても、たくさんあることがわかります。

○ 食べ物

- * 煮物として・・・ワラビ・ゼンマイ・フキ・キノコ
- * オオバギボウシ（ウルイともいいます）・・・おひたし
- * ヨモギ・・・団子を草色に
- * ドクダミ・・・お茶として、また傷口に絞り汁をぬります
- * ヤマブドウ・マタタビ・・・くだものとして
- * ストープで暖房や料理、お湯を沸かすのに、木を使いました。

木は燃えるとき、二酸化炭素CO₂を出します。でも、生長するとき二酸化炭素CO₂を吸収し、自分の体を作っていきます。ですから、木を燃やしても二酸化炭素CO₂が増えることはありません。

炭は、木を炭素Cだけにしたものです。炭は火持ちが良く、煙は出ず、料理を美味しく仕上げてくれます。里山の重要な現金収入でした。

○ 道具

木や竹は様々なものに加工されてきます。

大きなものでは、家を建てる・船・酒樽・机や椅子の家具などです。

小さなものでは、箸・お椀・たらい・まな板・へら・スプーン・お盆などです。

クズやぶどうの蔓では、籠を作りました。

竹は、細いひごにして、いろいろな道具を工夫してつくりました。

○ 小川

清流が流れ、湿地も沢山ありました。そこは、沢山の生き物を育てていました。

- * 魚・・・ヤマメ・岩魚・カジカ・ウグイ・ドジョウ・ウナギ
- * ホタル・トンボ
- * カエル・いもり・サンショウウオ
- * 川遊び・・・カヌー・釣り・川探検

○ 風景

森や木々・草地などの空気のきれいな全体の風景。さらには、山野の花・野鳥の鳴き声・チョウチョやトンボの飛び交い・バッタやセミ、クワガタムシの出没なども、重要なめぐみの一つです。

このような自然環境の中にいると、心が癒されます。

キャンプ・ハイキング・バードウォッチングには、心身が気持ちよくなる要素があるのですね。

今回の発表で一番伝えたかったことは、土呂部のような里山が、食べ物も燃料も道

今回の発表で一番伝えたかったことは、土呂部のような里山が、食べ物も燃料も道具もホテルも風景も、みんな「生産している」ということです。

生産された物を、人々が手を加え工夫して、食べ物や道具などになっています。それらを、都市に住む人々は「商品」として買ってきて使っています。

都市に住む人々は、「生産」がなくなれば生きていけません。

生産者の土呂部と、消費者の都市は、もっと仲良くしていかなければなりません。お互いに良さを認め合い、協力し、共に生きていくことを共通の価値観として共有することがとても重要なのです。

土呂部を7回も訪ね今回の発表をしてはっきりわかったことは、そういうことでした。

5, ふり返りの感想

- めいぷるしろっぷが、あまかったです。
- メイプルシロップも、おいしかったです。
たのしかった。
- たのしかったよ！

年少

- パンがおいしかったです。
じゃんけんして、かったのが、うれしかったです。

栗島小1年

- パンが、おいしかったです。

年少

- メーブルシロップがおいしかった。

かしわざき小2年

- メーブル、美味しかったです。

今年は、温暖化の影響でほとんど採取できなかった、とのこと。自然とのつながりを感じました。

来年は、土呂部で、直接体験したいです。

メーブルを パンにかけたら 美味しいな

年少

母

- 里山には、恵みが多くあることを感じました。
その恵みが、人の手を加えて商品となり、私たちの手に届いているということに、感謝したいと思いました。
「自然の物は自然にかえる」と言うこと、とても大切ですね。
とっても勉強になりました。
ワークショップは実践。口に出来て、味を感じることができて、良かったです。

中島根保育園

- 初めての発表会はメイプルでプロジェクターは恵を伝える

- 里山がもし無くなればどうなるの多様な地形に多様な生き物

古高 利男